

## Ⅱ 宮崎市中央・公設地方卸売市場の沿革

### 1 概要

従来、宮崎市においては、青果9地方卸売市場、水産2地方卸売市場、塩干加工問屋8社が市街地に散在し、それぞれに流通圏を形成していた。各市場とも規模が小さく増設の余地がないこと等から、交通渋滞の解消や市場機能の強化等の問題を抱える一方、施設の老朽化や衛生管理等の改善対策に迫られていた。これらを解消して市民の生鮮食料品の安定供給を図るため、関係機関や関係業界と協議を重ね、昭和51年12月に、青果部は2社に統合、水産物部は2社そのまま入場することが決定し、昭和52年7月11日に新市場で営業を開始した。昭和55年8月には、市場内卸売業者を中心として市場協会が設立され、取引及び秩序関係の適正化並びに市場の活性化に努めている。

平成7年1月23日に花き部の開設が認可され、同年5月29日に営業を開始。その後、平成24年4月1日に地方卸売市場に転換した。また、水産物部の2社は、平成25年3月に合併し、同年4月1日に地方卸売市場に転換した。

当市場は、現在40万市民はもとより105万県民の生鮮食料品等の安定供給と生産地市場としての役割を担っている。なお、近年の食品流通の多様化に対応するため、令和2年6月21日に改正卸売市場法が施行された。

### 2 経緯

年 月 日	事 項
昭和46年11月 1日	宮崎市中央卸売市場開設推進協議会を設置
昭和46年11月29日	宮崎市中央卸売市場整備計画書を農林省へ提出
昭和47年 2月15日	中央卸売市場開設区域指定（農林省告示第61号）
昭和47年 4月 1日	宮崎市中央卸売市場開設準備室を設置
昭和48年 5月18日	宮崎市中央卸売市場市議会調査特別委員会を設置
昭和48年11月 7日	宮崎市都市計画審議会で宮崎市中央卸売市場の建設位置を宮崎市新別府町に決定
昭和49年 3月30日	宮崎市土地開発公社が先行取得した市場用地を宮崎市が買収
昭和49年 9月 1日	市場建設課を新設、業務係、建設係を設置
昭和49年11月29日	宮崎市中央卸売市場用地造成工事着工
昭和50年 9月 1日	市場建設課を市場開設課へ、庶務係を設置
昭和50年10月13日	宮崎市中央卸売市場建設工事起工式
昭和52年 3月31日	宮崎市中央卸売市場竣工
昭和52年 4月 1日	機構改革により市場開設課が宮崎市中央卸売市場に、宮崎市中央卸売市場運営協議会設置
昭和52年 6月26日	宮崎市中央卸売市場開設認可（農林省指令52食流第3223号）
昭和52年 6月26日	開場式
昭和52年 7月 1日	機構改革により宮崎市中央卸売市場から管理課、業務課へ
昭和52年 7月11日	青果部、水産物部業務開始
昭和52年 8月30日	宮崎市中央卸売市場自治協議会設立（市場協会設立に伴い55. 8. 6解散）
昭和54年 4月 2日	機構改革、中央卸売市場部独立（管理課、業務課）
昭和55年 8月 6日	宮崎市中央卸売市場協会設立
平成 7年 1月23日	花き部開設認可（農林水産省指令69生第1459号）

年 月 日	事 項
平成 7年 5月 29日	花き部業務開始
平成 9年 7月 18日	宮崎市中央卸売市場開設20周年記念式典開催・20周年記念市場まつり実施（平成9年11月23日）
平成11年 4月 1日	機構改革、中央卸売市場部管理課及び業務課を農政部市場課へ統合
平成14年11月23日	宮崎市中央卸売市場開設25周年記念市場まつり実施
平成15年 4月 1日	機構改革、青果係、水産物係、花き係を業務係へ統合
平成19年 7月 7日	市場開放（試行）
～ 9月 22日	第1・3土曜日を市民に開放(10:00～14:00)
平成19年11月 3日	宮崎市中央卸売市場開設30周年記念市場まつり実施
平成20年 5月 17日	市場開放
～平成21年 3月 21日	第3土曜日を市民に開放(10:00～14:00)
平成21年 5月 16日	市場開放
～平成22年 3月 20日	第3土曜日を市民に開放(10:00～14:00)
平成22年 9月	市場開放「カンカン市」（関連商品店舗・食堂街）
～平成23年 3月	第3土曜日を市民に開放(10:00～14:00)
平成22年11月21日	「市場へこんね！」まつり
平成23年 4月	市場開放「カンカン市」（関連商品店舗・食堂街）
～平成24年 3月	第3土曜日を市民に開放(10:00～14:00)
平成24年 3月 27日	宮崎市花き地方卸売市場開設許可（宮崎県地方卸売市場第78号）
平成24年 4月 1日	宮崎市花き地方卸売市場業務開始
平成24年 4月	市場開放「カンカン市」（関連商品店舗・食堂街）
～平成25年 3月	第3土曜日を市民に開放(10:00～14:00)
平成24年11月 3日	宮崎市中央卸売市場開設35周年記念市場まつり実施
平成25年 3月 29日	水産物部が地方卸売市場開設許可（宮崎県地方卸売市場第91号）
平成25年 4月 1日	宮崎市花き地方卸売市場を、宮崎市公設地方卸売市場に名称を変更（水産物部・花き部）
平成25年 4月～	市場開放「カンカン市」（関連商品店舗・食堂街）第1・3土曜日
平成25年11月23日～	常時市場開放（関連商品店舗・食堂街：10:00～14:00）
平成29年11月 7日	宮崎市中央卸売市場開設40周年記念式典
平成29年11月12日	宮崎市中央卸売市場開設40周年記念市場まつり実施
令和 2年 6月 5日	宮崎市中央卸売市場農林水産大臣認定（2食産第1001号）
令和 2年 6月 21日	宮崎市地方卸売市場宮崎県知事認定（26130-1132）
令和 4年11月27日	宮崎市中央卸売市場開設45周年記念コロナ復興支援市場まつり実施
令和 5年 4月 1日	市場開放（関連商品店舗・食堂街）の時間を変更（10:00～14:00→7:00～15:00）

### 3 会社設立

年 月 日	事 項
昭和52年 4月21日	宮崎中央青果(株)及び宮崎青果(株)2社の営業譲渡について、公正取引委員会受理
昭和52年 5月 2日	「宮崎中央青果株式会社」設立。(宮崎県園芸(株)、宮崎西部青果(株)、宮崎北部青果(株)、宮崎合同青果(株)、(有)大淀青果市場、5社出資)
昭和52年 5月25日	「宮崎青果株式会社」設立。(丸果宮崎青果(株)、(株)丸印産商、(資)永野商店、宮崎青果商業(協)、4社出資)
昭和52年 6月 9日	宮崎市中央卸売市場冷蔵株式会社設立
昭和52年 7月 5日	宮崎中央市場バナナ株式会社設立
昭和52年 8月26日	宮崎市青果仲卸協同組合設立
昭和52年 9月 9日	宮崎市中央卸売市場水産仲卸協同組合設立
昭和52年11月 1日	宮崎市中央卸売市場水産物部買参人事業協同組合設立
昭和52年11月24日	宮崎青果小売商業協同組合設立
昭和52年12月21日	宮崎市中央卸売市場精算株式会社設立(青果部)
昭和55年 5月12日	宮崎市中央卸売市場水産物精算株式会社設立
平成 7年 3月 9日	株式会社宮崎中央花き設立
平成 7年 5月26日	宮崎市中央卸売市場花き部精算株式会社設立(現 ㈱宮崎中央花き精算部)
平成 7年 6月 8日	宮崎中央花き事業協同組合設立(現 宮崎中央花き花商組合)
平成17年 7月 1日	宮崎市鮮魚仲卸組合設立
平成25年 3月20日	株式会社宮崎魚市場と株式会社宮崎中央魚類が合併し、「株式会社宮崎魚市場」となる。

### 4 歴代市場長

初代 清 隆 夫	昭和52年 7月 1日～昭和53年10月30日	13代 大田原 睦 雄	平成12年 4月 1日～平成15年 3月31日
2代 岩 永 正 穂	昭和53年11月 1日～昭和53年11月24日	14代 新 名 典 忠	平成15年 4月 1日～平成18年 3月31日
3代 濱 田 政 信	昭和53年11月25日～昭和54年 4月 1日	15代 清 則 幸	平成18年 4月 1日～平成21年 3月31日
4代 吉 田 三 男	昭和54年 4月 2日～昭和58年 5月31日	16代 外 菌 進 市	平成21年 4月 1日～平成22年 3月31日
5代 森 木 輝 宣	昭和58年 6月 1日～昭和60年 3月31日	17代 児 玉 稔	平成22年 4月 1日～平成24年 3月31日
6代 入 田 龍 男	昭和60年 4月 1日～昭和62年 3月31日	18代 大 倉 敏	平成24年 4月 1日～平成26年 3月31日
7代 黒 木 達 郎	昭和62年 4月 1日～平成 元年 3月31日	19代 安 樂 和 寿	平成26年 4月 1日～平成29年 3月31日
8代 原 幸 男	平成 元年 4月 1日～平成 3年 3月31日	20代 小八重 和 久	平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日
9代 守 田 達 朗	平成 3年 4月 1日～平成 5年 3月31日	21代 吉 田 工	平成30年 4月 1日～令和 2年 3月31日
10代 杉 田 真 敏	平成 5年 4月 1日～平成 6年 3月31日	22代 渡 邊 宜 英	令和 2年 4月 1日～令和 4年 3月31日
11代 戸 高 和 則	平成 6年 4月 1日～平成10年 3月31日	23代 黒 木 祐 一	令和 4年 4月 1日～現在に至る
12代 横 山 貞 章	平成10年 4月 1日～平成12年 3月31日		